

4 A案

資料名：命をかけた非常汽笛

主題名：尊い命を守るために

内容項目：D（18）生命の尊さ

1 ねらい 生命の尊さを知り、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

2 授業展開例（ゲストティーチャーをGTと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 久田船長について知る。

- ① 人の命を守るために、努力した人を知っていますか。
- ・野口英世は、病気から人々の命を救おうとした
 - ・久田佐助という人が石川県にいたとは、初めて知った

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② 嵐で前がよく見えない中、船を進める久田船長は、どんなことを考えていましたか。
- ・みんなの身の安全を守ることが第一だ
 - ・他の船がぶつからないか心配だ
- ③ 事故の後、船客船員の全員をボートに乗せたのに、船に残って汽笛を鳴らし続けたのはなぜですか。
- ・ボートに乗っても、助けが来なければみんなを救えないと考えたから
 - ・汽笛を鳴らして、早く助けがくるようにしたかったから
 - ・船長として最後まで、みんなの命を助けるために頑張りたかったから
- ④ 久田船長の判断をどう思いますか。
- ・事故が起きて、船長としてたくさんの命を守ってすごい
 - ・船長もボートに乗れば命を守ることができたのではないかと家族が悲しむ
 - ・自分の命と同じように、他の命も大切であることを久田船長は伝えている

◇ GTの話聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、久田船長や、青函連絡船について紹介し、当時の様子が想像しやすいようにする。また、終末では、いしかわ版道徳教材映像資料集を活用し、久田船長の尊い行動を地域の人々が誇りに思い、その心を受け継いでいこうとしていることに気付かせる。
- ・久田佐助が、船長として船と命をともにしたのではなく、あくまでも船客船員の命を守りきるために、船に残り、汽笛を鳴らし続けたのだとして考えさせるようにする。
- ・GTには、医師や看護師、運転手など人々の生命と深く関わる職業の方や経験をお持ちの方をお招きし、命を大切にすることについて具体的に話していただくようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集2（小学校中学年）「4 命をかけた非常汽笛」

4 B案

資料名：命をかけた非常汽笛

主題名：尊い命を守るために

内容項目：D (18) 生命の尊さ

1 ねらい 生命の尊さを知り、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 命について考えた経験を思い出す。

① 命が大切だなあと感じた時はありますか。

- ・妹が生まれたとき、とっとうれしかった。大切にしたいと思った
- ・おじいちゃんが死んだ時、本当に悲しかった。また会いたい

◇ 資料を読んで話し合う。

② 資料を読んでどんな感想を持ちましたか。

- ・久田船長が、自分の命を犠牲にしても船に乗っている人の命を救おうとしていたので、すごいと思った
- ・久田船長は死んでしまってもかわいそうだった
- ・船客船員の命が助かってよかった。船長も生きていたらもっと良かった
- ・どうして久田船長は船に残ったのかと思った

◇ 映像資料を視聴し、久田船長碑前祭の様子を知り、命の大切さについて話し合う。

③ 久田船長のどんな姿が、人々の尊敬を集めているのでしょうか。

- ・汽笛を鳴らして、早く助けがくるようにしたこと
- ・船長として最後まで、みんなの命を助けるために頑張りぬいた姿
- ・自分一人の命を犠牲にしても、たくさんの命を救うことに全力を注いでいた

④ 生命を大切にすることは、どうすることなのでしょうか。

- ・自分の命と同じように、友達や他の人の命を大切にすること
- ・心を傷つけるようなことをせず、元気になれるようなことをすること
- ・何があるかわからないから、後悔しないように一生懸命生きること
- ・久田船長のような人から、命の大切さを学び、伝えていくこと

◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、命について考えた経験を想起し、主題に対する関心を高めるようにする。また、終末では、映像資料集を活用し、久田船長の尊い行動を地域の人々が誇りに思い、その心を受け継いでいこうとしていることに気付かせる。
- ・久田佐助が、船長として船と命をともにしたのではなく、あくまでも船客船員の命を守りきるために、船に残り、汽笛を鳴らし続けたのだとして考えさせるようにする。

4 参考資料

- ・映像資料集 2（小学校中学年）「4 命をかけた非常汽笛」